

栄養サポートチーム活動アンケート

少人数のチームと多職種が加わるチームの2チームで活動する

愛野記念病院 長崎県

中村真知子¹⁾

Nakamura, Machiko

1) 管理栄養士 2) 医師

伊藤千華¹⁾

Ito, Chika

前田 滋²⁾

Maeda, Shigeru

病院の概要

- 病床数：260 床。
- 診療科数：15 科。
- 平均在院日数：18 日。

栄養部門の概要

- 部門名称：栄養科。
- スタッフ数：管理栄養士 7 名，栄養士 4 名，調理スタッフ 13 名。
- 給食業務（直営/委託）：直営。
- 提供食数：750 食/日。
- 提供食種数：40 種。
- 専従者を出した場合の業務の割り振りや人員補充の状況：NST 業務を行っていた管理栄養士がそのまま専従を担った。業務の割り振りはそれまで行っていた栄養管理実施加算業務を他の管理栄養士へ移行した。人員補充は 1 名の管理栄養士（新卒）を補充した。

NST の概要

■ NST のプロフィール

- 医師・看護師・薬剤師・管理栄養士以外に届け出を出している職種：理学療法士，作業療法士，言語聴覚士，臨床検査技師，医療ソーシャルワーカー。
- 専従者職種：管理栄養士。
- カンファレンス・回診の回数：A チーム：カンファレンス・回診 各週 1 回，B チーム：カンファレンス・回診 各週 4～5 回。

■ 専従者のプロフィール

- 部門内専従者選出の基準：とくに設けていないが，栄養アセスメント

病院の概要

当院は長崎県，島原半島の付け根である雲仙市愛野町に位置し，病床数は亜急性病棟 48 床，療養病棟 36 床，HCU4 床を含む 260 床である。DPC を導入し，15 診療科，平均入院日数 18 日，二次救急指定を受けている急性期病院である。

栄養部門の概要

栄養科のスタッフ数は管理栄養士 7 名，栄養士 4 名，調理スタッフ 13 名（パート 1 名含む）計 24 名，給食業務は直営で 1 日平均 750 食提供している。

業務内容は基本的に管理栄養士が栄養管理，栄養士が給食管理を中心に担っている。これまでに，幾度も管理栄養士・栄養士間で話し合いを重ね，役割分担を行った。その甲斐あって，お互い効率よく業務が遂行できている。管理栄養士は 7 名中 4 名は経験年数 2 年未満で，毎月症例検討会や勉強会を行い「管理栄養士にしかできない栄養管理」を目標に研鑽を積んでいる。栄養士は調理現場の管理を中心に「安全で美味しい食事の提供」をスローガンとし日々業務を行っている。

NST の概要

愛野記念病院 NST は現在「2 チーム制」をとっている。

NST 創設当初から医師，看護師，薬剤師，管理栄養士，リハビリテーションスタッフ（PT・OT・ST），臨床検査技師，医療ソーシャルワーカーで回診とカンファレンスを行ってきた。2010 年 4 月に NST 加算算定をはじめると同時に，要件である医師，看護師，薬剤師（いずれも専任）と管理栄養士（専従）のみで構成したチームを新たに発足させた。従来の NST メンバーを「A チーム」，新たなチームを「B チーム」とした。B チームを少人数で構成したこ



- や状況判断等の能力は必要。
- 専従者となるための資格：なし。

■ NST 実際の活動状況

- NST 検討対象患者情報の集めかた：①栄養管理計画書を作成する管理栄養士から，②病棟看護師から，③主治医から，など。
- NST 介入の基準：① SGA, ODA より低栄養が認められた患者，②褥瘡保有患者，③喫食率 50% 未満が 3 日間連続している患者。
- カンファレンス・回診の進めかた：A チーム：カンファレンス後に回診，B チーム：回診をしながらカンファレンス，回診およびカンファレンスの司会進行は専従者が行う。
- 患者に対する情報提供の体制：栄養治療実施計画書を患者にわかりやすく改定したものを提供。
- 保険医などからの相談に応じる体制：NST 外来（水曜日午後）。
- 他の医療チームとの特筆すべき連携：近隣歯科との連携で行っている歯科回診。

とで，随時ショートカンファレンスと回診を行うことができています。一方，A チームでは栄養管理に難渋している症例を重点的に対応できることとなり，結果として NST 活動の拡充に結びついている。

●愛野記念病院における NST の歴史

2003 年 7 月に栄養に関する勉強会からスタートし，翌年 1 月に NST として本格的に稼働したが，最初からすべてが上手くいったわけではない。当時の NST 担当薬剤師と筆者で各部署に出向き，「NST ではどういうことを行い，どういったメリットがあるか」等を休憩時間に集まってもらい説明を繰り返した。すべての部署を回り終える頃には，ある程度 NST の理念が浸透したように感じた。その後も，栄養管理に関する案件は迅速に対処するよう心掛け，NST の信頼を得るために奔走した。輸液や栄養剤の採用製品一覧表を担当部署で作成し，必要書類は幾度となく改定を重ね，体制を整えた。2004 年に JSPEN 認定 NST 稼働施設，2006 年に JCNT 認定 NST 稼働施設に登録し活動を続けている。

加えて栄養管理実施加算（2006 年）や NST 加算（2010 年）が新設されたことも追い風となり，院内でもさらに栄養管理の重要性が認識されている。

●他の医療チームとの特筆すべき連携

管理栄養士は NST 以外にも，褥瘡対策委員会や緩和ケアチームに参画し，個別対応食の提案等を積極的に行っている。また，NST の働きかけにより近隣の歯科医院と協働し，2009 年より歯科回診も導入している。これにより口腔内環境が改善，誤嚥性肺炎が減り喫食率の改善にもつながっている。

このように NST 専従者は栄養管理を行うだけではなく，他チームとの連携を調整することも重要な役割だと考える。

表 NST 1 週間のスケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
専従者 AM	NST ミーティング・回診準備	NST ミーティング・回診準備	NST ミーティング・回診準備	NST ミーティング・回診準備，褥瘡回診準備	NST ミーティング・回診準備
チーム AM	NST ミーティング・回診情報収集	NST ミーティング・回診情報収集	NST ミーティング・回診情報収集	NST ミーティング・回診情報収集	NST ミーティング・回診情報収集
専従者 PM	B チーム NST ミーティング・回診	B チーム NST ミーティング・回診	B チーム NST ミーティング・回診	B チーム NST ミーティング・回診，褥瘡回診	A チーム NST ミーティング・回診
チーム PM	B チーム NST ミーティング・回診	B チーム NST ミーティング・回診	B チーム NST ミーティング・回診	B チーム NST ミーティング・回診	A チーム NST ミーティング・回診